

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	日本語2 (Japanese2)	授業コード	A023151
担当教員名	清田芳弘、平野ゆみ、古川 俊雄		
配当学年	1年留学生	開講期	前期、後期
必修・選択区分	選択	単位数	1
履修上の注意または履修条件	日本語能力試験N1、N2合格者を含む、すべての留学生は「日本語2」と合わせて受講してください。プレースメントテストを行い、能力別クラスを編成します。ただし、N1、N2合格者は全員上級クラスに入ることになります。		
受講心得	・授業は能力別3クラスで行いますが、評価については共通試験を実施し、共通の基準で評価します。 ・12月の日本語能力試験受験を考えている場合は、後期開講前の9月中に出願手続きを済ませておいてください。		
教科書	プリント教材		
参考文献及び指定図書	『聴くトレーニング 基礎編』、『読むトレーニング 基礎編』(ともにスリーエーネットワーク)		
関連科目	日本語1、日本語3、日本語4		

授業の目的	①学部講義を理解するための基礎的な能力を伸ばすため、「読むトレーニング」と「聞くトレーニング」の両面から総合的なスキルアップを図る。 ②能力的目標レベルとして日本語能力試験N3～N2レベルの基礎的な理解力、運用力を身につける
授業の概要	毎時間「聞くトレーニング」として講義理解に近づくための聴解課題を2題程度、「読むトレーニング」として日本語能力試験N3～N2レベルの文章を3題程度扱い、語彙・文型・内容理解の基礎力増強を図る。

○授業計画			
学修内容	学修課題(予習・復習)		
第1週： プレースメントテスト			
第2週： 聞くトレ 聴解課題 聞き取りにくい音声語彙 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解	配布資料 学習課題の時間 60分		
第3週： 聞くトレ 聴解課題 慣用表現 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解	配布資料 学習課題の時間 60分		
第4週： 聞くトレ 聴解課題 慣用表現 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解	配布資料 学習課題の時間 60分		
第5週： 聞くトレ 聴解課題 留学生活語彙 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解	配布資料 学習課題の時間 60分		
第6週： 聞くトレ 聴解課題 情報・通信語彙 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解	配布資料 学習課題の時間 60分		
第7週： 聞くトレ 聴解課題 データ語彙 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解	配布資料 学習課題の時間 60分		
第8週： 聞くトレ 聴解課題 社会問題語彙 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解	配布資料 学習課題の時間 60分		
第9週： 聞くトレ 聴解課題 心理・教育語彙 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解	配布資料 学習課題の時間 60分		
第10週： 聞くトレ 聴解課題 経済・経営語彙 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解	配布資料 学習課題の時間 60分		

第11週: 聞くトレ 聴解課題 科学語彙 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解		配布資料 学習課題の時間 60分
第12週: 聞くトレ 聴解課題 推測聞き 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解		配布資料 学習課題の時間 60分
第13週: 聞くトレ 聴解課題 情報の照合 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解		配布資料 学習課題の時間 60分
第14週: 聞くトレ 聴解課題 情報の比較 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解		配布資料 学習課題の時間 60分
第15週: 聞くトレ 聴解課題 情報の統合 読むトレ 読解課題 語彙・文型・内容理解		配布資料 学習課題の時間 60分
第16週: 期末試験 期末試験(全クラス共通問題)		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考	能力別3クラスで授業は行いますが、期末試験は共通問題で実施します。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①大学生活における日常的な話題の文章を読んで理解できる。
【知識・理解】	②文章中のキーワード、キーセンテンスを見つけ、内容の概要をつかむことができる。 ③日本語能力試験N3～N2レベルの基礎的な理解力、運用力を身につける。
【技能・表現・コミュニケーション】	④大学生活における日常的な場面で、やや自然に近いスピードでまとまりのある会話を聞いて、話の内容や話の関係性について理解でき、ほぼ再現することができる。
【思考・判断・創造】	⑤日常的な話題でやや難易度の高いものでも、言い換えなどを通じて要旨を理解できる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	80点	10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	<p>原則として、毎回、授業で扱う「読むトレ」「聞くトレ」練習課題に関する語彙・文型・内容理解、そのテーマに関する宿題を出しますので、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。</p> <p>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p>
発表・その他(無形成果)	<p>2~3人のグループごとに、授業で扱う「読むトレ」「聞くトレ」練習課題の中の語彙・文型・内容理解、そのテーマに関する発表活動を行います。達成水準の目安は以下の通りです。</p> <p>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p>